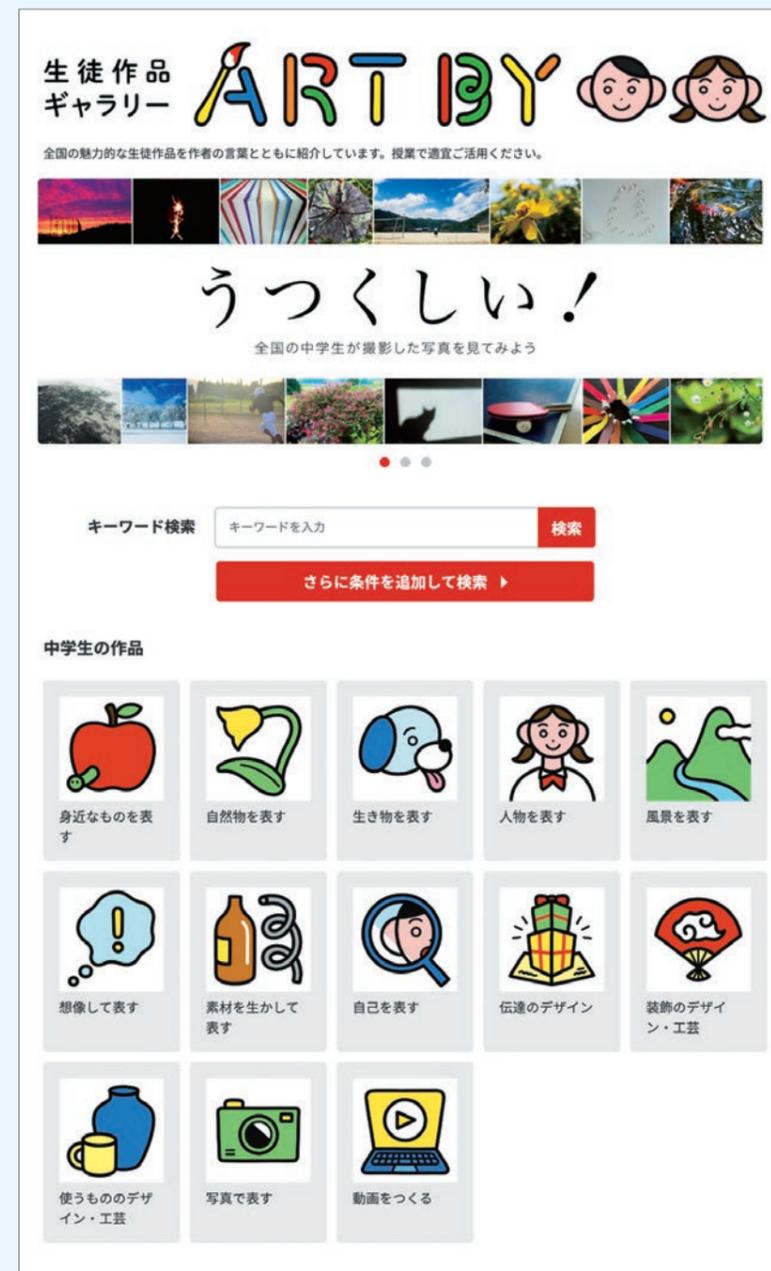


# 「ART BY」を活用しよう!



「ART BY」は  
こちらのQRコードから  
アクセスできます。

「生徒作品ギャラリー ART BY STUDENTS」(以下「ART BY」)は、全国の生徒作品を紹介しているウェブコンテンツです。2018年から光村図書ウェブサイトで公開しており、現在(2022年10月)、中学校・高等学校合わせて約1000点の生徒作品がアップされています。今年10月には、キーワードや描画材、技法などで検索できる機能も加わり、さらに使いやすくなりました。本特集では、**オンライン鼎談**や実践事例を通して、「ART BY」の魅力や活用方法をご紹介します。



「ART BY」トップページ(<https://artby.jp/>)

## 「ART BY」って?

全国の中高生の美術作品を閲覧できる国内最大級の生徒作品ギャラリー。風景画や自画像、ポスター、木工芸、写真など、さまざまな作品をテーマ別に紹介しています。



ヘキサポッドと北海道を眺めて  
2022年制作  
紙、絵の具、青森県/38×54cm/中学校

**作者の言葉**  
ヘキサポッドの緑がかっているところや、立体感、さまざまなパーツが組み合わさった構成を絵の具で表現しました。また、海は青一色でなく、黄色や緑を入れて、反射光や影を表現しました。



各テーマのボタンをクリックしたり作品検索をかけたこと、さまざまな生徒作品を見ることができます。

## オンライン鼎談

# 「ART BY」で深まる 美術の授業

「ART BY」は、実際の授業でどのように活用されているのでしょうか。

学校現場で魅力的な実践をされている岩佐先生と田中先生、

そして大学で美術教育の研究をされている直江先生に、効果的な活用法などについて語っていただきました。

聞き手 光村図書出版 編集部



なほ え とし お  
**直江俊雄**

筑波大学教授

愛知県生まれ。筑波大学芸術系教授。筑波大学卒業後、東京都内の公立中学校教諭を経て、筑波大学大学院修了。博士(芸術学)。ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ客員研究員などを経て、2014年より現職。美術科教育学会代表理事を務める。光村図書中学校・高等学校「美術」教科書の編集委員。



いわ さ  
**岩佐まゆみ**

大分県立中津北高等学校 指導教諭

大分県生まれ。大分大学卒業後、大分県内の公立高等学校教諭などを経て2022年4月より現職。京都芸術大学大学院に在籍中。『高校生の美術1 学習書』(全国高等学校通信制教育研究会編)に携わる。光村図書高等学校「美術」教科書の編集委員。



た なか しん じ ろう  
**田中真二朗**

秋田県大仙市立中仙中学校 教諭

秋田県生まれ。宮城教育大学大学院修了後、秋田県内の公立中学校などを経て2022年4月より現職。2012年に博報賞受賞。著書に『中学校美術サポートBOOKS 造形的な見方・考え方を働かせる 中学校美術題材&授業プラン36』(明治図書)。光村図書中学校「美術」教科書の編集委員。

## 鑑賞を深める「作者の言葉」

— GIGAスクール構想の推進により、1人1台の端末整備も進んだことで、授業でウェブコンテンツを活用する機会も増えてきました。先生方の学校では、「ART BY」をどのように活用されていますか。

**岩佐** うちの学校では1人1台タブレット端末が配布されていますが、発想や構想を広げるツールとして「ART BY」を活用しています。作家の作品に比べ、同世代の作品だと身近に感じやすいので、よい刺激にもなっていると思います。私が指示しなくても、生徒たちが勝手に「ART BY」を見ているくらい。

自分では思いつかない発想が促される効果も実感しています。さまざまな描画材の作品がそろっているの、「ART BY」に載っている作品を見て、例えば「鉛筆だけで描いてみようかな」とか、そういったヒントを得られるコンテンツです。

**田中** 僕も重宝しています。これほどたくさんの生徒作品を掲載しているサイトは、他にないですから。

個人的には、中学校の「自己を表す」のカテゴリーが気に入っています。自分をどんなふうに見えたいか、自分をもっとどう表現しようとしているのかが見えて、生徒たちの多様性を感じます。

**直江** 先生方はこれまでにも、過去に指導した生徒の作品を授業で紹介することはあったかと思いますが、

「ART BY」の登場で、さらに多様な作品を提示できるようになったのはたいへん意義深いと思います。

作品画像とともに「作者の言葉」を掲載しているのもいい。生徒によっては授業で設定された課題について言及しているものもあるので、その課題の中で生徒がどう試行錯誤したのかをイメージできますよね。

**田中** どんな思いで描いたのか、自己をどんなふうに見えたいのか、そういった制作へのアプローチが文章で見られるのはとてもありがたいですね。中学生の場合、まだ作品の鑑賞に慣れていない生徒も少なくないので、言葉があることによって、その作品に隠された作者の思いや工夫が可視化されるのは大きいです。

「作者の言葉」がいい。  
 どのようにして  
 試行錯誤して  
 生まれた作品なのか、  
 イメージできる。直江



花火を見ながら涼む夜  
 2017年制作  
 アクリル、木、針金、紙粘土、埼玉県/高さ26cm/中学校

作者の言葉  
 シャワーを浴びてすっきりした後、髪の毛を乾かそうと扇風機の前で口を開いて風を受けました。その時、窓の外に豪華で美しい花火が咲き、「今、生きている」ことを実感しました。

POINT  
 各作品に「作者の言葉」を掲載。生徒が作品に込めた思いや制作意図をご覧いただけます。

各生徒作品の詳細画面

直江 ただ、注意したいのは、必ずしも「作者の言葉」が正解ではないということですね。鑑賞においては、仮に作者が意図していないことだったとしても、見た人が自由に解釈していいものですから。

岩佐 そうですね。最初から「作者の言葉」を提示するのではなく、まず作品とタイトルだけを見せて、自分なりに作者の思いを想像したり、友達と感想を交流させたりして、最後に「作者の言葉」を開示するのもいいかもしれません。自分が感じたことと「作者の言葉」を比べて、同じように感じる部分があるか、もしくは新しい発見があるかななどを検証する。そうすることで、より深い鑑賞につながると思います。

### 世代もジャンルもさまざまな作品

岩佐 「ART BY」は中学生と高校生のどちらの作品も載っているのがいい。必ずしも中学生は中学生、高

校生は高校生の作品を見るのではなく、縦の行き来があってもいいと思います。

田中 確かに。高校生の作品が見られるのは、中学生としてはありがたいです。先輩の作品は憧れをもって見ますから。

岩佐 逆に、高校生が中学生の柔軟な発想に学ぶ、っていうこともありえますよね。また、授業時間内で制作した親しみのもてる作品から、美術部員が公募展に出すような作品まで幅広く掲載されているので、さまざまなニーズに応えられます。

直江 多種多様な作品に触れられるのは大きな魅力ですね。今後も次々に作品が蓄積されていくと、生徒作品のデータベース化が進んでいきますが、そうすると、制作年による時代的な違いが出てきてさらにおもしろいかもしれません。

岩佐 時代性は作品に反映されますからね。例えば、今はまだコロナ禍でマスク生活が続いていますが、あ

る学校では「マスクの中の自分らしさを表現する」という授業を行ったとか。まさに時代を象徴する題材ですよ。

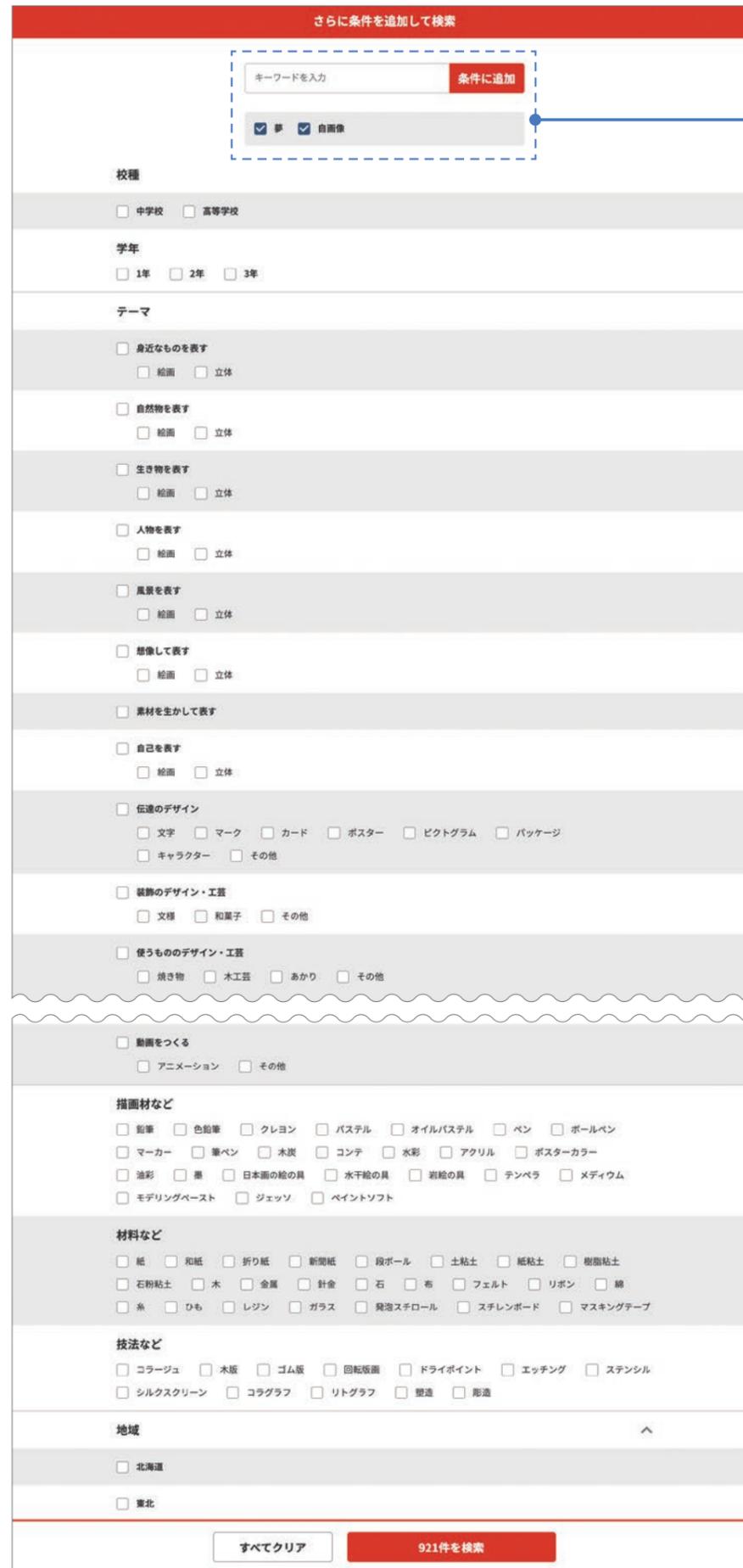
直江 アーカイブ化が進むと、美術教育史的にも、より価値あるコンテンツになっていきますね。特別支援学級や海外の生徒たちの作品も増えてくると、さらに内容が豊かになりそうです。

田中 楽しみですね。作品を提供した生徒にとっても、自分の作品がこうしてウェブ上で公開されて、ずっと記録として残り続けるのはうれしいことだと思います。

### 検索機能でさらに便利に

— 今回のリニューアルで、キーワードや描画材などで作品を検索できるようになりました。この検索機能を使って、どんなふうには生徒に作品を紹介したいと思われませんか。

田中 僕だったら「キーワード検索」を使うかな。例えば「夢」でキーワ



POINT  
 キーワード検索が可能になりました。タイトルや「作者の言葉」からキーワードを抽出します。

POINT  
 作品を「校種」「学年」「テーマ」「描画材」「材料」「技法」「制作された地域」で絞り込み検索ができるようになりました。

幅広い作品が掲載されているから、さまざまなニーズに応えられる。岩佐



詳細検索画面

ード検索して、タイトルや「作者の言葉」に「夢」が入っている作品を探すと。作品の主題となるキーワードで検索するパターンが頻繁に使われるような気がしますね。

描画材や材料で作品を検索するのもいいですね。「針金」にチェックを入れて検索する、とか。一つの材料でこんなにさまざまな表現ができるんだとか、そういった見せ方はできると思います。

**岩佐** 私も「キーワード検索」はかなり有効だと思います。例えば「自分の感情を表現する」という課題設定の場合、その感情をあらわすキーワードを生徒が自主的に検索することで、発想や構想を広げることができますよね。

### 先生が授業を振り返るきっかけにも

**田中** 長年授業をしていると、どうしても自分の指導が凝り固まってきて、同じような表現方法や描画材で制作してしまうことってあると思うんです。そういったときに「ART BY」を見ることで、「こういう方法を試させてもおもしろいかも」と、自分の指導を振り返るきっかけにもなるのではないのでしょうか。

生徒が見ることはもちろん、先生方にとっても「ART BY」を活用することは、授業づくりを考えるヒントになると思います。

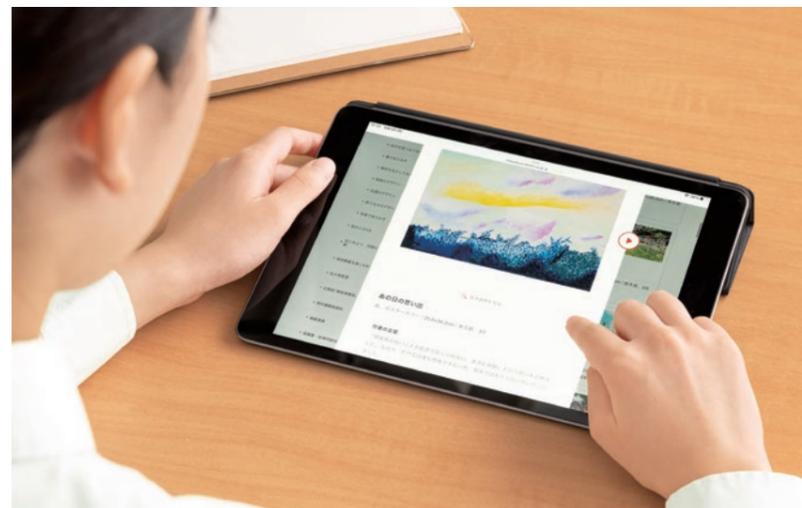
**岩佐** 研究会を振り返っても、同じ地域だと、ある程度授業の内容が似てしまうことは確かにありますよね。全国各地の多彩な作品を集めた「ART BY」は、先生方にとってもよい研究材料になるはずですよ。

— 今後は「ART BY」を活用した学習指導案もサイトにアップしていく予定です。こちらも授業研究にぜひお役立てください。

### 模倣ではなく 主題を生み出すヒントに

**直江** お二人にお伺いしたいのですが、たくさんの作品が見られることで、生徒が安易に模倣してしまうという懸念はないのでしょうか。他人のアイデアなのに、自分のアイデアのように表現してしまう、とか。

**岩佐** 私は授業で参考作品を見せる際は、必ず著作権の話をするようにしています。「真似してみたい」という意欲をもつこと自体は悪くないけど、それを「自分の作品です」と言って発表してしまうのは剽窃にあたるので駄目、と。



先生にとっても、自分の授業づくりを考えるきっかけになる。田中



**田中** 中学校の場合、自分の中からどのように主題を創出させるかという部分をすごく意識して授業を行っているので、少なくともうちの学校の場合、ビジュアルだけを安易に真似する生徒はそう出てこないと思います。「作者の言葉」なども参考にしながら、主題を生み出すヒントにしてくれればいいですね。

**直江** 「ART BY」に限らずですが、他の作品を参考にした際、その作品のどこに影響を受けて、どの部分を自分なりに作品に取り入れたのかといった発想のプロセスを残しておくことが重要になりますね。

作家の作品でも、何らかの形で先行作品の影響を受けているケースは多いですし、見た目だけを真似するのではなく、過程を重視した創作に役立てるといいですね。「ART BY」の活用で、美術教育がさらに発展していくことを期待しています。(了)

先生方が選んだ「ART BY」のお気に入りの生徒作品 /

## 「私のこの1点」



### 何度でも見ていられる心の庭園

超絶技巧と驚きの連続といった作品があふれている「ART BY」の中で、「映像をつくる」のリストの最初に載っているこの映像に戻ってくると、ただ心がいやされて何度でも見ていられます。ありふれた庭の片隅と思われる草花を背景に、素朴な線で描かれた少女がこちらを見つめているだけ。目を閉じる人物と庭の中に立つ人物の表現スタイルがなぜ違うのか、これらが何を表しているのか謎ですが、そんなことを考えずにただイラストの少女とともに心を揺らしているのが心地よいです。



身近な夢  
映像作品 / 1分30秒(再生時間)  
青森県、高校2年

### 作者の言葉

映像作品をつくってみたいと思い、現実の映像とアニメーションを組み合わせたらどうなるか挑戦しました。かわいさもあつつつ不思議な雰囲気の作品ができたと思います。



### 独特の世界観で描かれた物語絵

画面に描かれている人物は少女一人だけで、他に人の姿は見当たりません。世界にこぼれ落ちた一瞬のきらめきは、三日月や星、十字架、宝石、植物や魚、遺伝子のらせん構造のような模様となって、ひらめく布の模様に染め上げられていきます。その様子はまるで天地創造のようで、少女が共に生きていく仲間をつくり出そうとしているようにも見えます。独特の世界観を大切にしている、絵本の挿し絵のような作品だと思いました。



染まれ 油彩 / 80.3×100cm / 神奈川県、高校2年

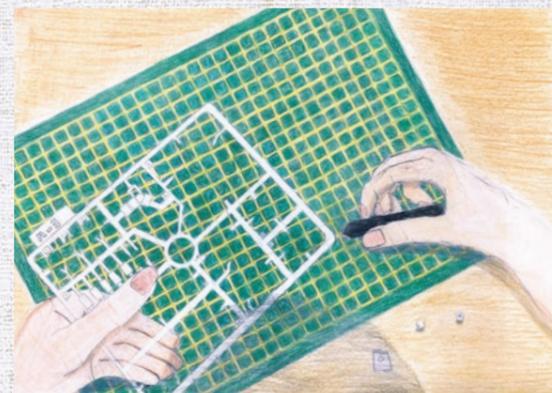
### 作者の言葉

あるとき世界にこぼれ落ちた瞬間のきらめきを布を染め上げる様子を描きました。なぜ少女は色を捕まえようとしたのでしょうか。描かれたさまざまなモチーフをヒントに、あなただけのストーリーを考えてみてください。



### 自分の視点から描く「自分」

「自己を表す」に掲載されている作品のほとんどは客観的に自分を見ているようなものですが、この作品は、自分の視点から描いています。それも、プラモデルを作っている最中のものです。今しか表現できない、今だからこそ表現できる作品というものに力を感じますし、宝物のように思います。何気ない瞬間を自分に重ねているおもしろさ、工作マットの線とプラモデルの線の重なりのおもしろさ、とても魅力的な作品です。



作りかけの夢 鉛筆、色鉛筆 / 27×38cm / 埼玉県、中学2年

### 作者の言葉

僕にはたくさんさんの夢があります。その夢に向かつて努力している日々が、こつこつと少しずつ地道に作りあげるプラモデルに似ていることに気がつき、プラモデルを作りあげている様子を自画像として描きました。

# わたしの授業プラン

さまざまな実践をされている岩佐先生と田中先生に、「ART BY」を活用したとっておきの授業プランをご紹介します。

**身近な「大切なもの」を描く**  
(高校1年)  
全6時間／絵画・彫刻



IWASA

## 題材のねらい

身近な「大切なもの」をモチーフに選ぶことで、見たままを描くだけでなく、生徒の思いを創意工夫して表現できると考えた題材です。どんな工夫をしてよいかわからない生徒には、「ART BY」の作品を見て、発想や構想のヒントにでもあります。第6時の鑑賞会で、形や色、構成、描画材の特徴や筆づかいなどに表現した大切な思いや創意工夫を友達を感じ取ってくれと、生徒たちはとても嬉しそうに、美術表現のすごさを実感します。

## 準備するもの

教師：端末、画用紙(B5判程度)、さまざまな描画材や材料  
生徒：端末、自分の表現に合わせた画材

時	学習活動
1	<b>身近にあるものを見つめ直す</b> ・日々の生活の中で目にするものの中から、絵に描きたい「大切なもの」を選ぶ。 ・「ART BY」の「身近なものを表す」の作品を鑑賞し、同じ高校生が表現した作品の創意工夫を感じとる。
2	<b>発想し、構想を練る</b> ・選んだ「大切なもの」に対する自分の考えや感情をクラゲチャートに書き出す。 それをもとにどのような表現の工夫ができるか発想し、作品の構想を練る。
3~5	<b>制作する</b> ・構想に合わせて描画材を工夫し、イメージに合わせて制作する。 ・1時間ごとに振り返りを行い、次の目標を設定する。
6	<b>鑑賞会を行う</b> ・友達の作品を鑑賞し、表現の工夫から意図や心情について推測し、感想を述べ合う。 ・意見が出尽くしたら、制作者が作品の意図を解説し、振り返りする。

**15歳の存在証明**  
(中学3年)  
全8時間／絵や彫刻など



TANAKA

## 題材のねらい

小学校の図画工作と中学校の美術で学んできたことの集大成として位置づけている題材です。これまでの学習を生かして、「15歳の今しかできない表現」を考えて制作させます。授業の導入では「ART BY」の生徒作品をグループで鑑賞します。多様な生徒作品を鑑賞することで、「自分ならどう表現するか」を考えさせたいと思います。

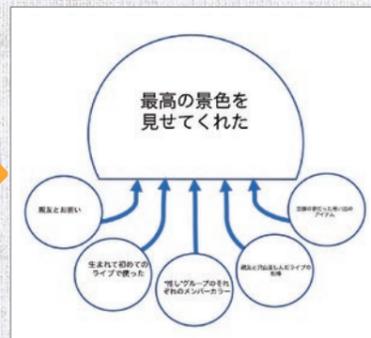
## 準備するもの

教師：端末、さまざまな描画材や材料  
生徒：端末、自分の表現に必要な描画材、材料

時	学習活動
1	<b>「表現すること」とは何か考える</b> ・幼少期の子どもの絵を鑑賞し、発達段階による絵の変化について学ぶ。 ・現代美術やアール・ブリュットなどの作品を鑑賞し、レポートを書く。 ・レポートを教室や廊下などに掲示し、共有する。また、「表現すること」とは何かについてみんなで話し合う。
2	<b>「ART BY」の「自己を表す」の生徒作品を鑑賞して発想を広げる</b> ・各自の端末で「ART BY」の「自己を表す」の生徒作品を鑑賞する。 「共感!」「驚き!」「気になる!」という三つの視点で3作品を選ぶ。 ・選んだ理由をワークシートに書き込み、グループで発表し合う。 この鑑賞活動の中で出たキーワードや話題になったことをクラス全体で共有する。 ・自分ならどのような主題を表現するか、どのような表現方法を試してみるか考える。
3~7	<b>構想を練って制作する</b> ・マッピングなどの思考ツールで自分を分析したり、画集や「ART BY」などを参考にしたりして、作品の構想を練る。 ・描画材や材料を工夫し、それぞれの表現方法で制作する。 1時間ごとに学習課題を設定し、制作中に気づいたことや作品の変化などを端末に記録する。
8	<b>鑑賞する</b> ・自分の制作意図を発表する。また、友達がどのような思いで制作したのかも知る。 ・卒業制作展に展示するため、制作意図などを作品解説としてまとめる。



「ART BY」の「身近なものを表す」に掲載されている生徒作品を鑑賞して、表現の工夫などを参考にします。



親友と初めて行った「推し」のライブで使用した双眼鏡を描くことに。クラゲチャートを使い、双眼鏡への思いをつきつめて考えた。

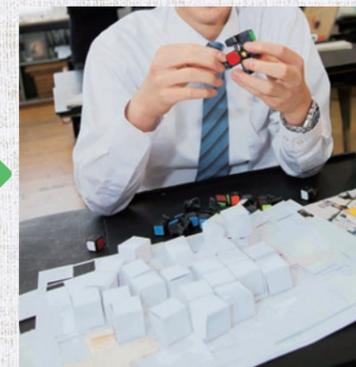
## 生徒作品



【完成作品】想眼鏡(そうがinkyō)  
背景とレンズの部分は「ずっと目に焼きついている最高の景色」を表現するため、アクリル絵の具やポスターカラーで色鮮やかに描いた。



「ART BY」の「自己を表す」の生徒作品を、「作者の言葉」も参考にしながらグループで鑑賞した。



大好きなルービックキューブで自分自身を表すことに。丁寧に一つ一つのパーツを制作。

## 生徒作品



【完成作品】人生キューブ  
ルービックキューブの各面に、好きなものと苦手なもののイメージを対になるように貼って構成した。